

15分で完了！感染症BCP訓練 シナリオ&チェックリスト

【実施記録】 ※運営指導の記録として保管してください

- 実施日時： 202X年 月 日（ ） : ~ :
 - 実施場所：
 - 参加者名：（進行役： ）他 名（裏面に名簿添付）
-

本日の訓練シナリオ

「日曜日の夜間、利用者1名に38.5度の発熱と咳の症状が見られた。現在の出勤職員は最少人数である。」

STEP1：初動対応とゾーニングの確認（5分）

【机上&実地】 どこを隔離部屋とし、どう動線を分けるか確認します。

- 発熱発見時、「最初に誰に報告するか」が決まっており、連絡先がすぐにわかる。
- 発熱した利用者を隔離する「個室」がどこか、全員が把握している。
- 汚染区域（レッドゾーン）と清潔区域（グリーンゾーン）の境界線が明確である。

※可能であれば、実際に床に赤いテープ等を貼ってみる。

- 職員が防護具（PPE）を着る場所、脱ぐ場所が明確に決まっている。

STEP2：防護具（PPE）着脱のデモンストレーション（5分）

【実地】 代表者1名が着脱を行い、他の職員は手順を確認します。

- 必要な防護具（使い捨てガウン、手袋、マスク、フェイスシールド等）がすぐ取り出せる場所にある。
- 正しい順番で着脱できているか確認した。（特に**「脱ぐ時」**の感染リスクに注意する）

- [] 防護具を脱ぐ場所に、捨てやすい「ふた付きのゴミ箱」が設置されている。
- [] 防護具を脱いだ直後の、手指消毒のタイミングと消毒液の設置場所を確認した。

STEP3：職員不足時の「優先業務」の確認（5分）

【机上】 クラスタが発生し、職員が半分になった場合を想定します。

- [] 「必ず継続する業務」（食事・排泄・投薬など生命維持に直結するケア）の共通認識がある。
 - [] 「休止、または簡略化する業務」（レクリエーション、詳細な記録、入浴の一部清拭への切り替えなど）の共通認識がある。
-

訓練の振り返り（課題抽出）

※完璧にできなくても問題ありません。「できなかったこと＝課題」を記録することが最も重要です。

Q. 今回の訓練で気付いたマニュアルの不備や、現場の課題は何ですか？

【課題の例】

- 防護具の予備がどこにあるか、全員が把握していなかった。
- 防護具を脱ぐ場所にゴミ箱がなかった。
- 夜間の緊急連絡網の番号が古くなっていた。

【抽出された課題と今後の改善策】

（課題）

（改善策）